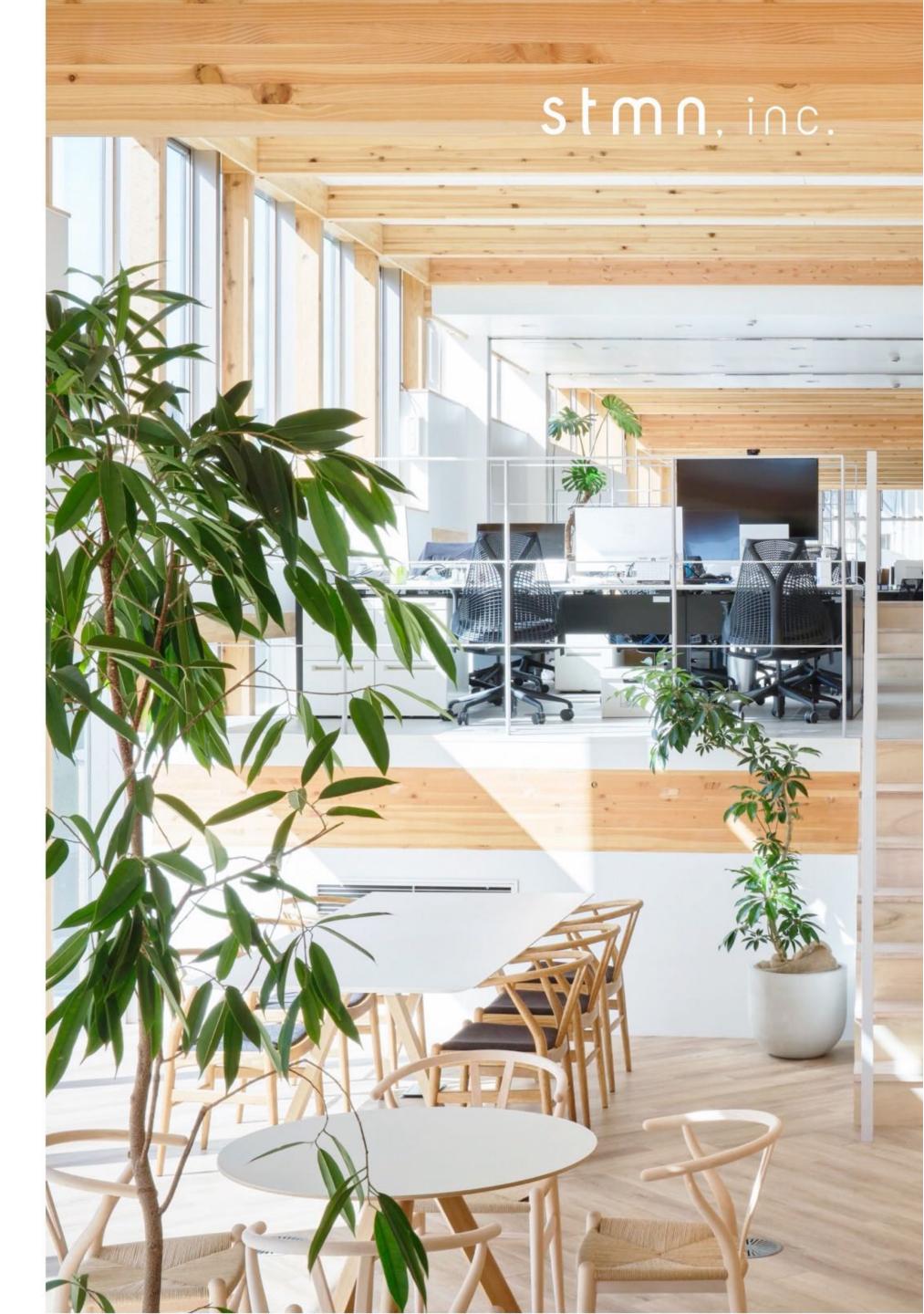
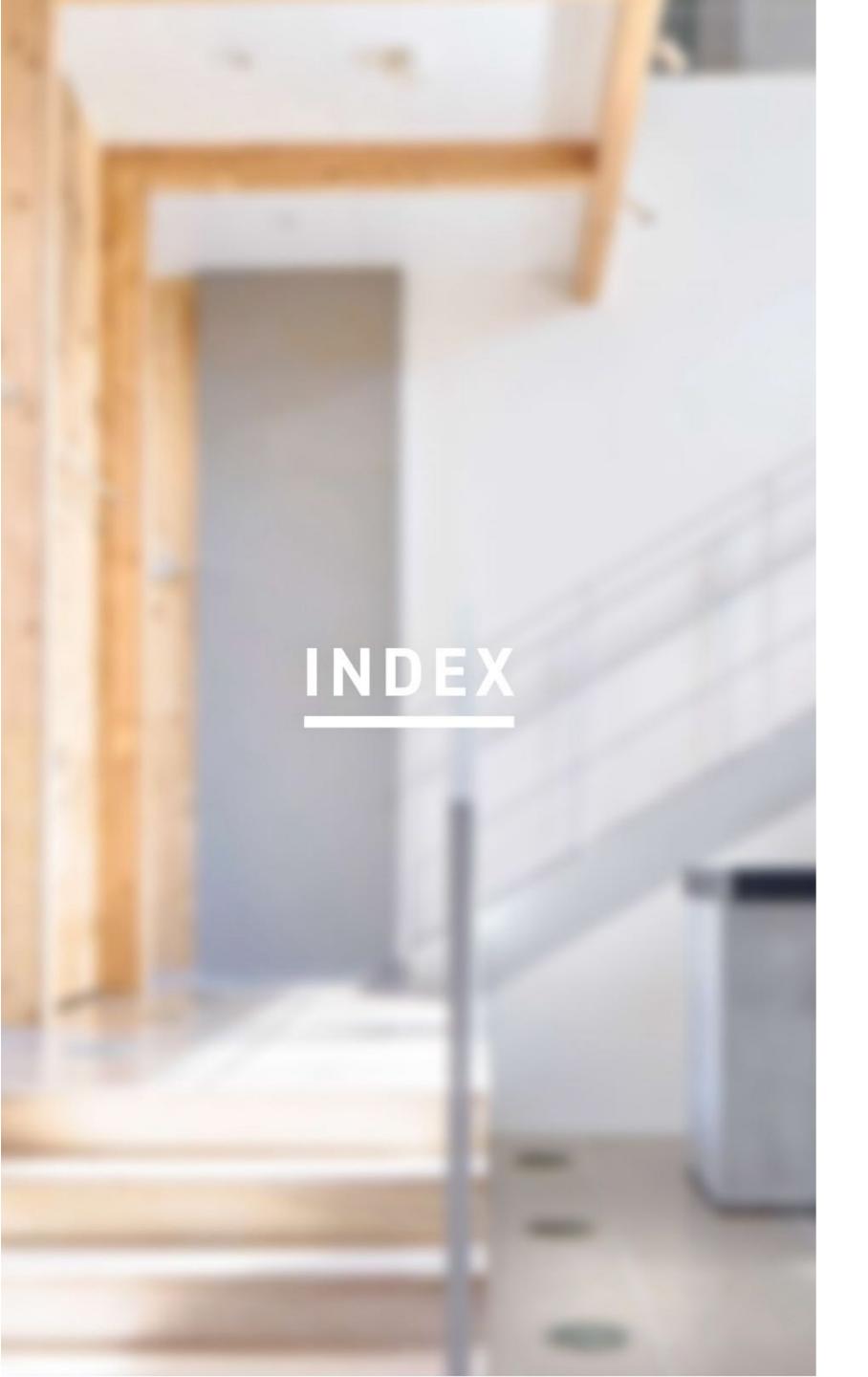
Financial Highlights 2023 Fiscal Year 1Q

May.2023

株式会社スタメン 証券コード: 4019 2023年12月期 第1四半期 決算説明資料





2023年12月期 第1四半期実績	02
従業員エンゲージメント事業[TUNAG]	09
コミュニティエンゲージメント事業 [FANTS]	13
2023年12月期 業績見通し	17
補足資料	20

2023年12月期

第1四半期実績

TUNAGの利用企業数、平均MRRはこれまで同様、順調に増加。 FANTSは大型コミュニティ開拓に注力した結果、平均MRRのみ伸長。

TUNAGの利用企業数

605社

前年同期末 452社

TUNAGの平均MRR®

185千円

前年同期末 173千円

TUNAGの売上高ストック比率^{※2}

91.8%

前年同期 87.7%

FANTSの運営コミュニティ件数

前年同期末 181件

FANTSの平均MRR®

前年同期末 44千円

FANTSの売上高ストック比率^{※2}

前年同期 84.5%

初のテレビCMの放映や、外部アワードへの参加など認知拡大に向けた取り組みを数多く実施。 第2四半期以降、PR・広報活動に一層力を入れ、さらなる知名度向上を目指す。



静岡エリアにて、初のテレビCMを放映

サービスリリースより6年経過したタイミングで、静岡エリアにて初のテレビCMを放映。今後もテレビCMに限らず、タクシー広告や街頭ビジョン広告など、サービス認知拡大を目的とした広告出稿を継続して行なっていく。



キャリアオーナーシップ経営AWARD 優秀賞受賞

パーソルキャリア株式会社が主催する『キャリアオーナーシップ経営AWARD 2023』において優秀賞を受賞。エンゲージメントサービス提供企業として、今後も人的資本を最大化する取り組みに力を入れていく。



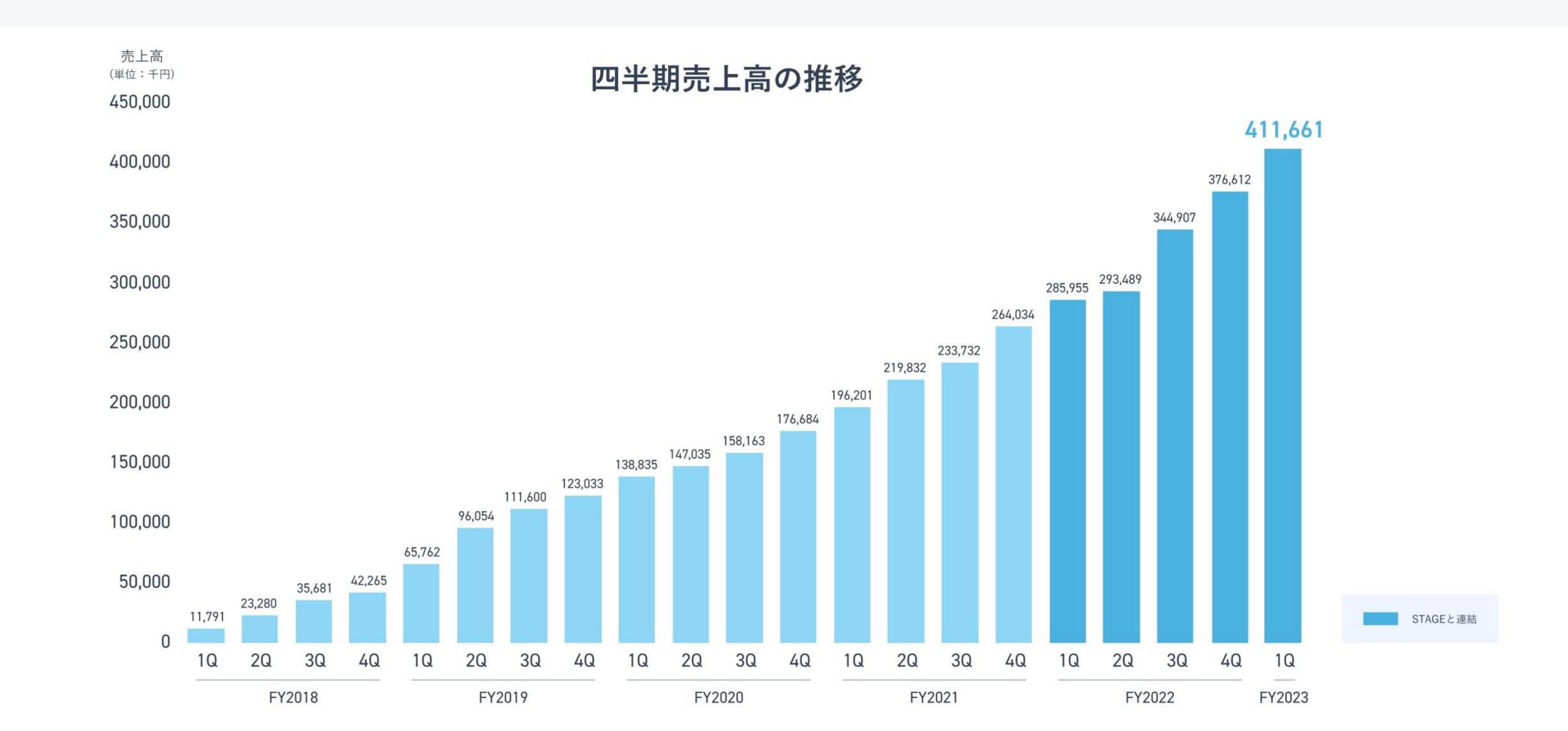
BOXIL SaaS AWARD 部門1位を獲得

スマートキャンプ株式会社が運営する『BOXIL SaaS AWARD 2023』にて「導入事例セクション」物流業界部門と「BOXIL SaaSセクション」Web社内報部門で第1位を獲得。

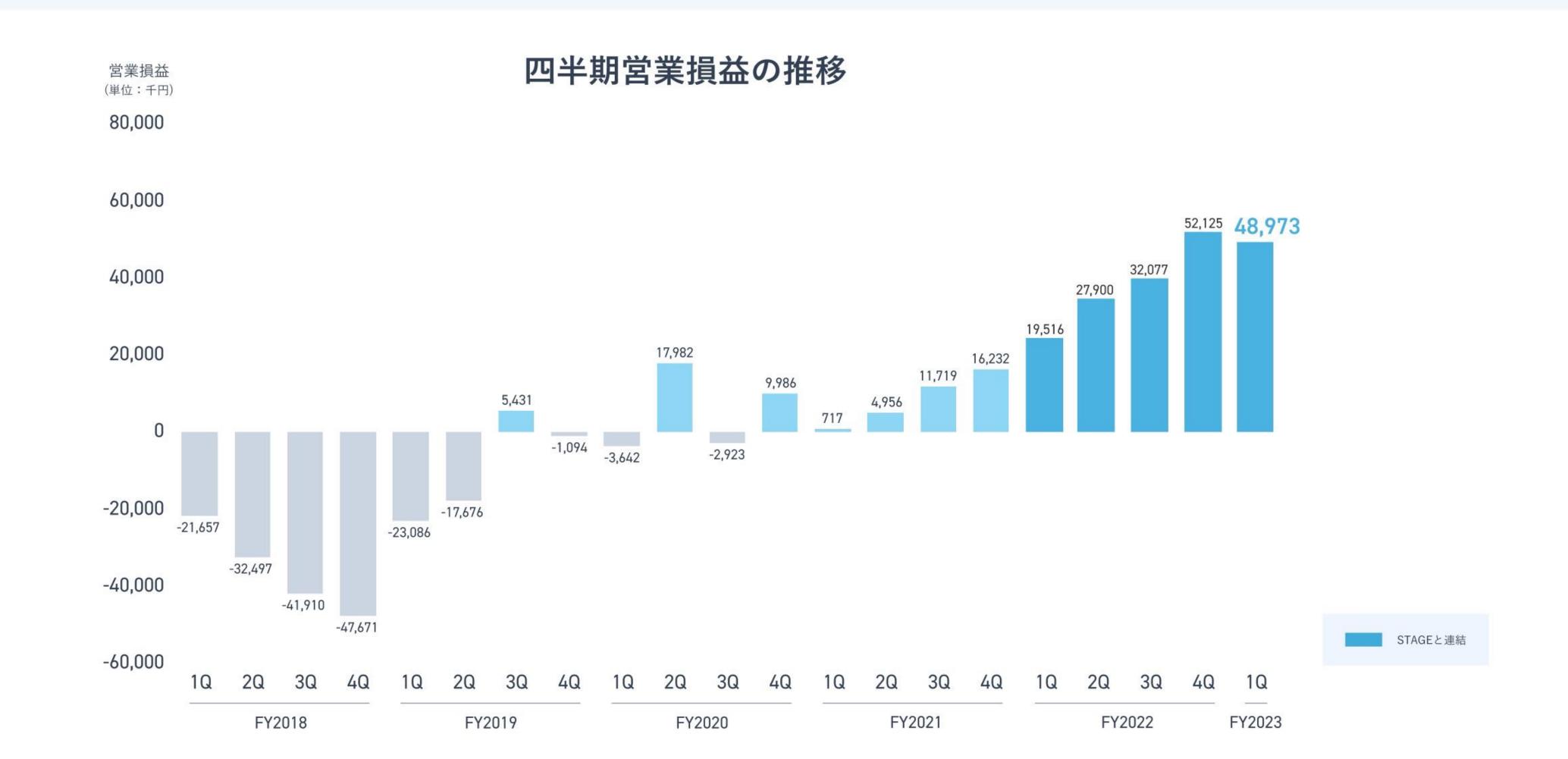
第1四半期の業績は売上高、各段階利益ともに前年同期比で大きく増収増益。 安定的な売上高成長率と利益創出力を継続していく。

(百万円)	2022/12期 1Q (前年同期)	2022/12期 4Q (前四半期)	2023/12期 1Q (当四半期)	前年同期比	前四半期比
売上高	285	376	411	+44.0%	+9.3%
売上総利益	230	298	324	+40.7%	+8.6%
利益率	80.7%	79.4%	78.9%	-1.8pt	-0.5pt
営業利益	19	52	49	+151.6%	-5.8%
利益率	6.8%	13.8%	11.9%	+5.1pt	-1.9pt
経常利益	19	52	49	+147.7%	-6.7%
当期純利益	13	43	38	+187.8%	-10.6%

2022年より株式会社STAGEを連結子会社化。 順調に増収を続けており、早期に四半期売上高で500,000千円突破を目指す。



事業開始2年目で投資段階にある株式会社STAGEを含めた連結営業利益でも、一定水準の利益を確保。

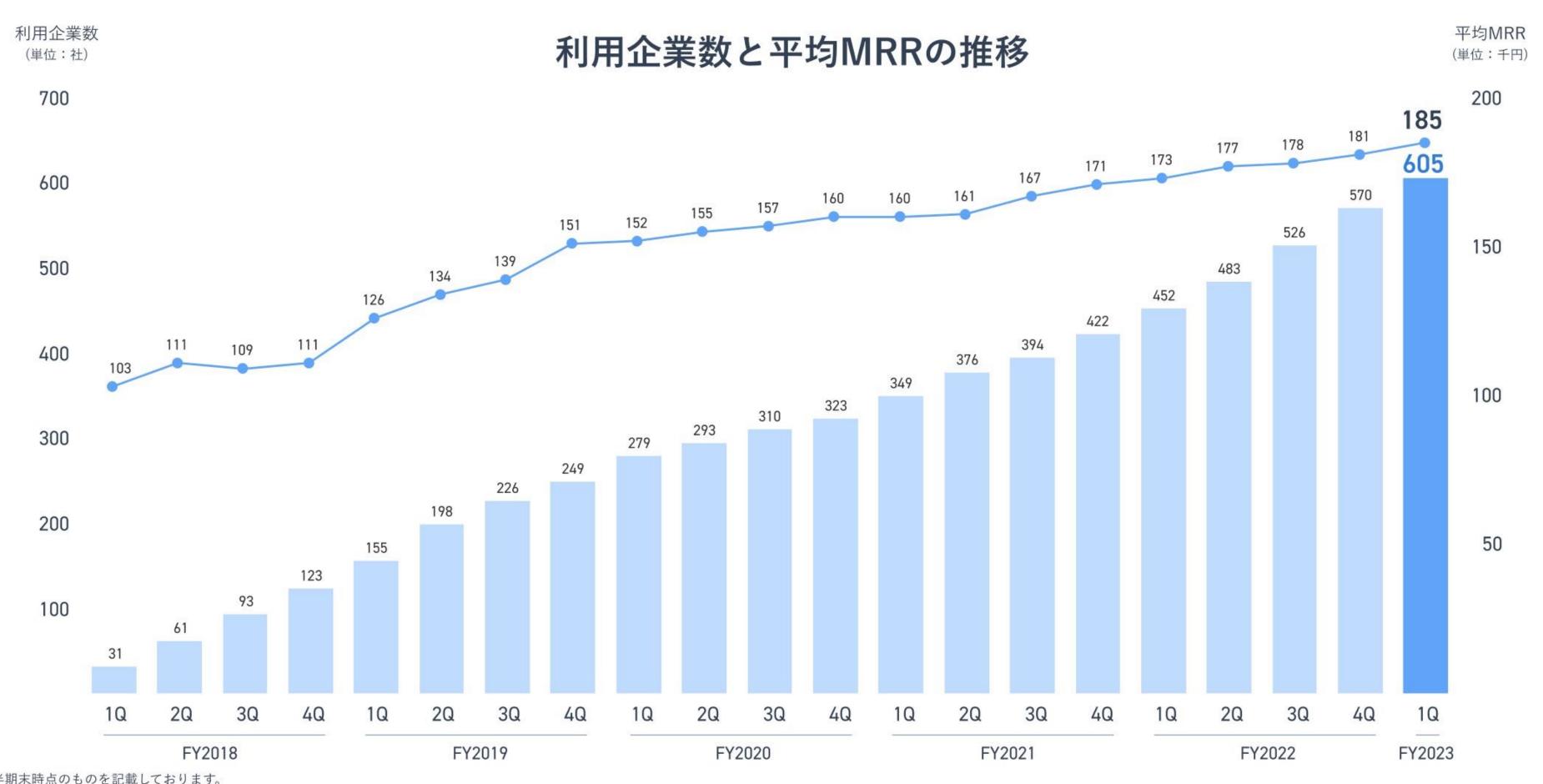


金融機関とのアライアンス強化を目的とした一時的な借入を実施。 その上で、自己資本比率60%以上 流動比率250%以上と、高い財務安全性を継続。

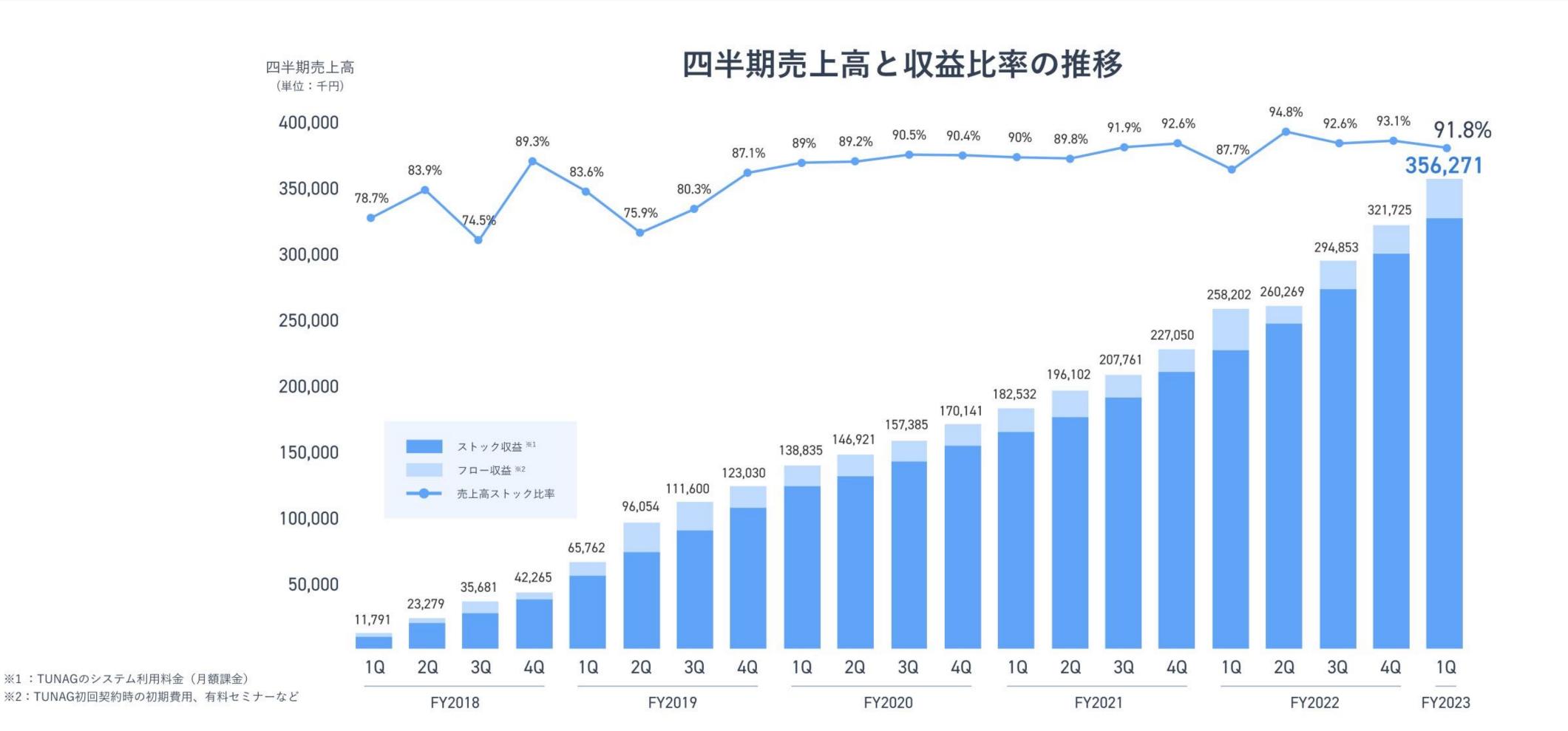
(百万円)	2022/12 期末	2023/12 第1四半期末	増減額
流動資産	1,274	1,391	+117
固定資産	259	274	+15
資産合計	1,533	1,665	+132
流動負債	462	547	+85
固定負債	39	33	-6
負債合計	501	581	+80
株主資本	1,016	1,067	+51
純資産合計	1,031	1,084	+53
負債純資産合計	1,533	1,665	+132
自己資本比率	66.3%	64.1%	-2.2pt

従業員エンゲージメント事業 (TUNAG)

利用企業数は600社を突破。平均MRRについても 安定的な成長が継続しており、中期的に200千円を目指していく。



ストック収益は順調な増加を続けており、強固な収益基盤を堅持。 売上高ストック比率については、今後も90%台を目安に事業運営を行う。



企業や組合に属する全ての方の、 日常的なアクセスを誘引する機能を複数リリース予定。



TUNAGベネフィット機能 (2023年6月リリース予定)

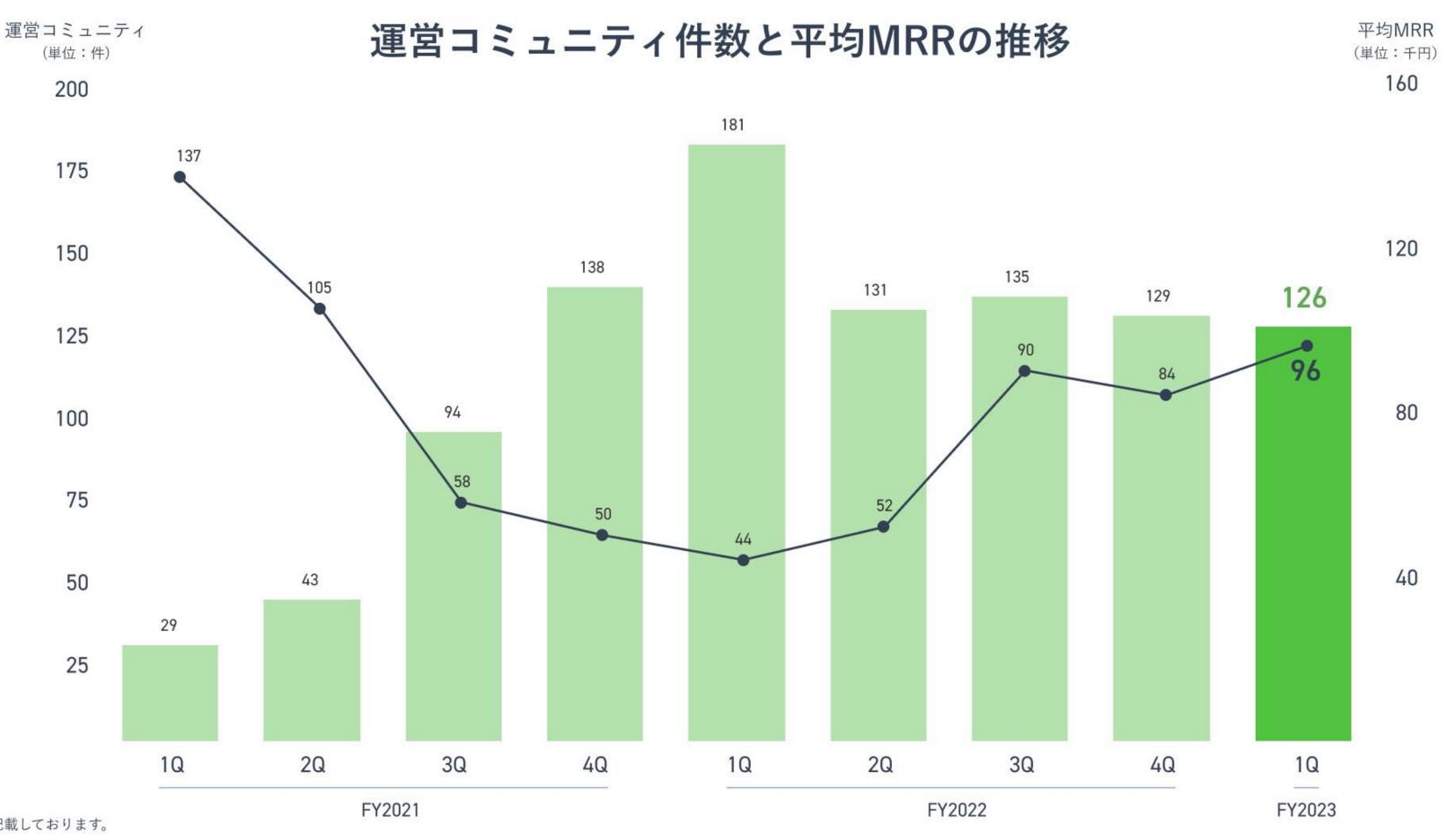
利用企業のユーザーが、映画の優待チケットや、クーポン を取得できるようにするTUNAGベネフィット機能をリリー ス予定。これにより、ユーザーのログイン率を向上させ、 各企業のエンゲージメント施策をより一層加速させていく ことが可能となる。



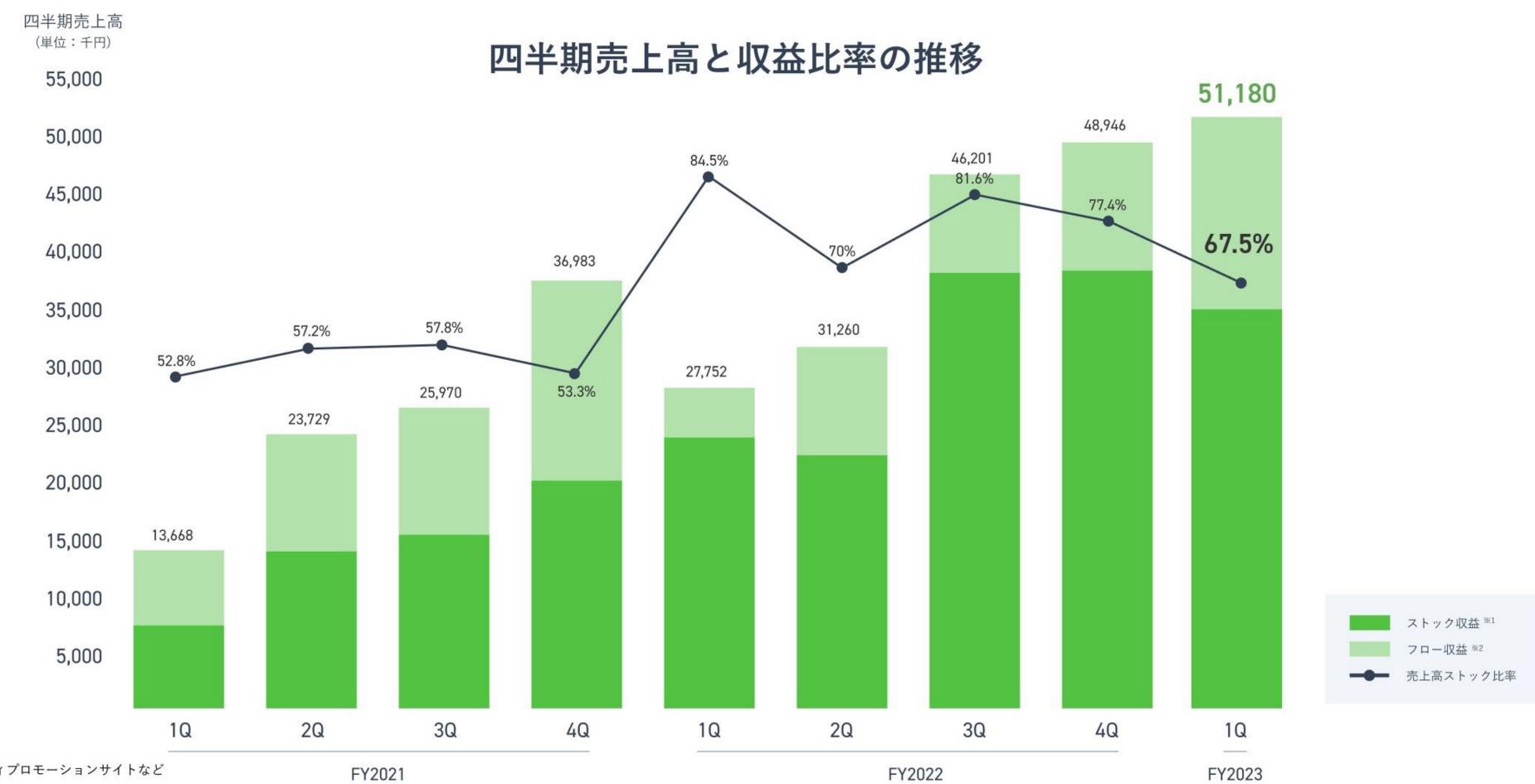
マルチアカウント機能 (2023年6月リリース予定)

導入企業の拡大に伴い、1人のユーザーが複数のTUNAGア カウントを持つ事例が徐々に増えてきたことから、そう いったユーザーの利便性を大きく向上させるマルチアカウ ント機能をリリース予定。

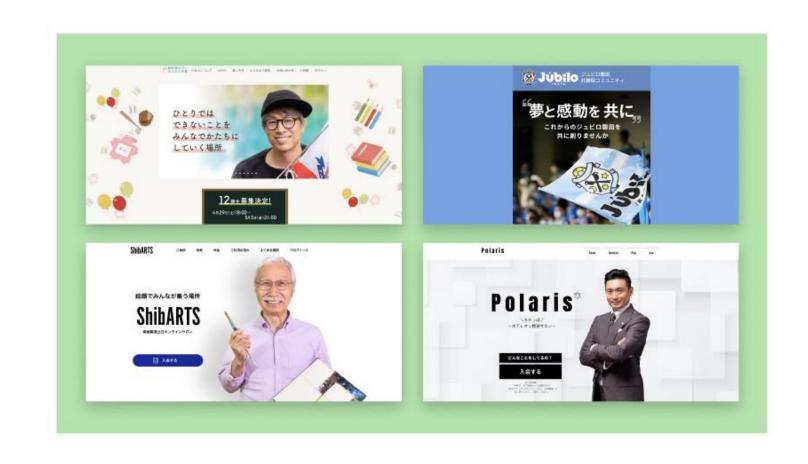
コミュニティ エンゲージメント事業 (FANTS)



大型のコミュニティが複数契約に至り、一時的にフロー収益が増加。 コミュニティ開設後には、ストック収益の増加も見込む。



ARPUの引き上げに寄与する案件の獲得に注力し、 大型のコミュニティ創出における「再現性」を事業として高めていく。



多方面で大型コミュニティでの利用が拡大

専門家向けのオンラインスクールやタレント・スポーツ チームのファンコミュニティなどの大型コミュニティが開 設し、FANTSの運営コミュニティが拡大中。また、今後の 大型コミュニティの受注・支援体制強化に向け、ブランド サイトのリニューアルや採用強化などを実施。



HOME機能のリリースを予定

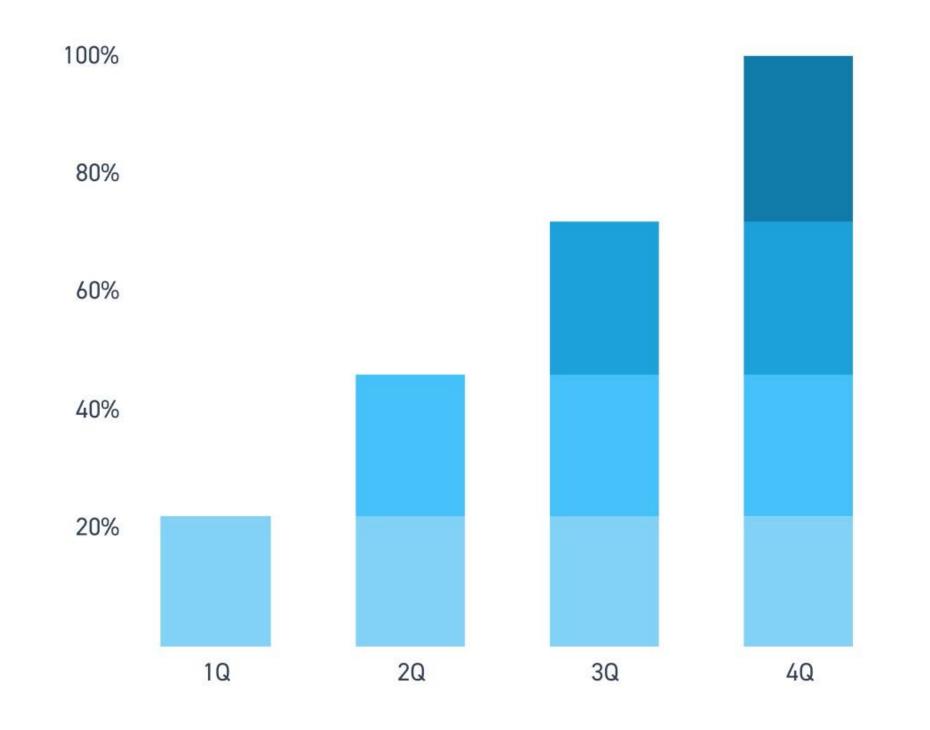
多様化するオンラインコミュニティの用途に応じて、適切な情報伝達やコミュニケーションの活性化を促すことができるHOME機能をリリース予定。特に、情報量が多い大型コミュニティでは、高い活用効果を見込んでいる。

2023年12月期

業績見通し

TUNAG事業、FANTS事業ともに、SaaSモデルのストック型ビジネスであるため 第3・第4四半期の寄与度が大きくなる。

FY2023の四半期毎売上構成比イメージ



四半期毎の売上構成比実績

	1Q	2Q	3Q	4Q
FY2019	17%	24%	28%	31%
FY2020	22%	24%	25%	28%
FY2021	21%	24%	26%	29%
FY2022	22%	23%	26%	29%

売上高、各段階利益ともに順調に推移。今年度中に大型のプロモーションを予定しており、 各段階利益が現状は上振れしているが、通期では計画範囲内での着地を想定。

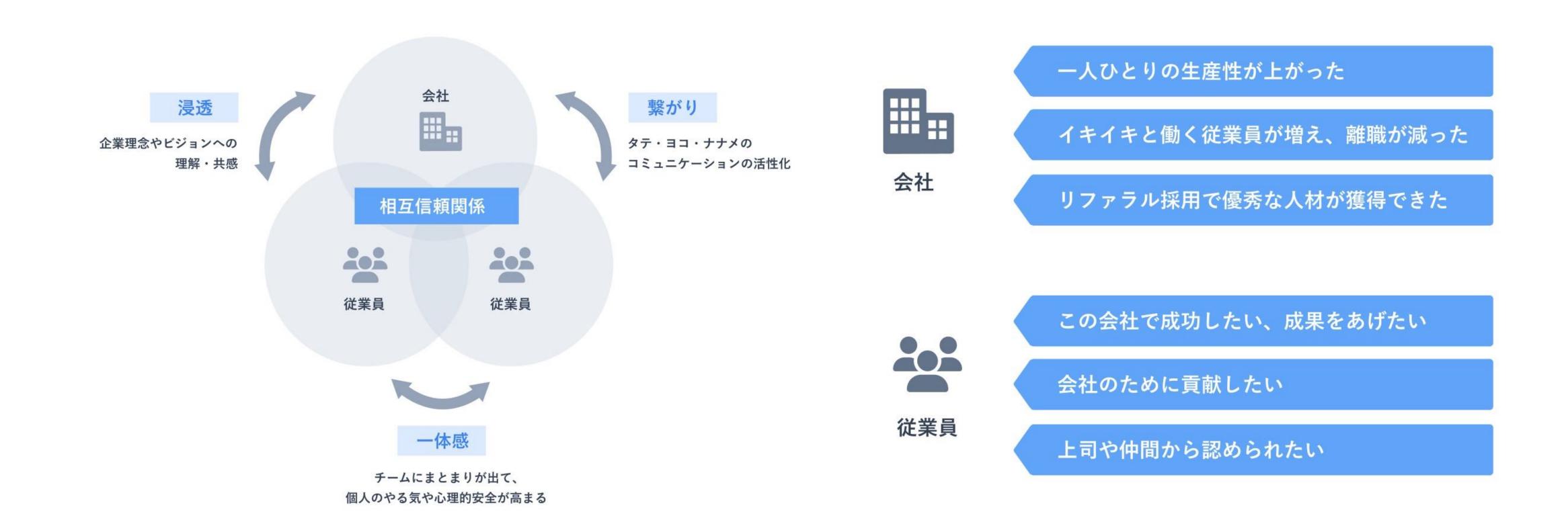
	FY2023(業績見通し)			FY2023(業績見通し) FY2023(実績)		
(百万円)	上期予想	下期予想	通期予想	1Q実績	上期進捗率	通期進捗率
売上高	806	944	1,750	411	51.0%	23.5%
営業利益	28	122	150	49	175.4%	32.7%
経常利益	28	122	150	49	175.7%	32.8%
当期純利益	14 _*	108 _*	122 _*	38*	277.9%	31.9%

[※]当期純利益の算定にあたって、法人税等は税引前当期(四半期)純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率を乗じて見積計上をしております。 法人税等には税効果会計の影響を加味して算定しておりますが、実績の業績動向に基づく繰延税金資産の回収可能性の見直しによって、実際に計上される金額と予想数値と異なる場合があります。これにより、当期純利益の実績金額が変動する可能性があります。

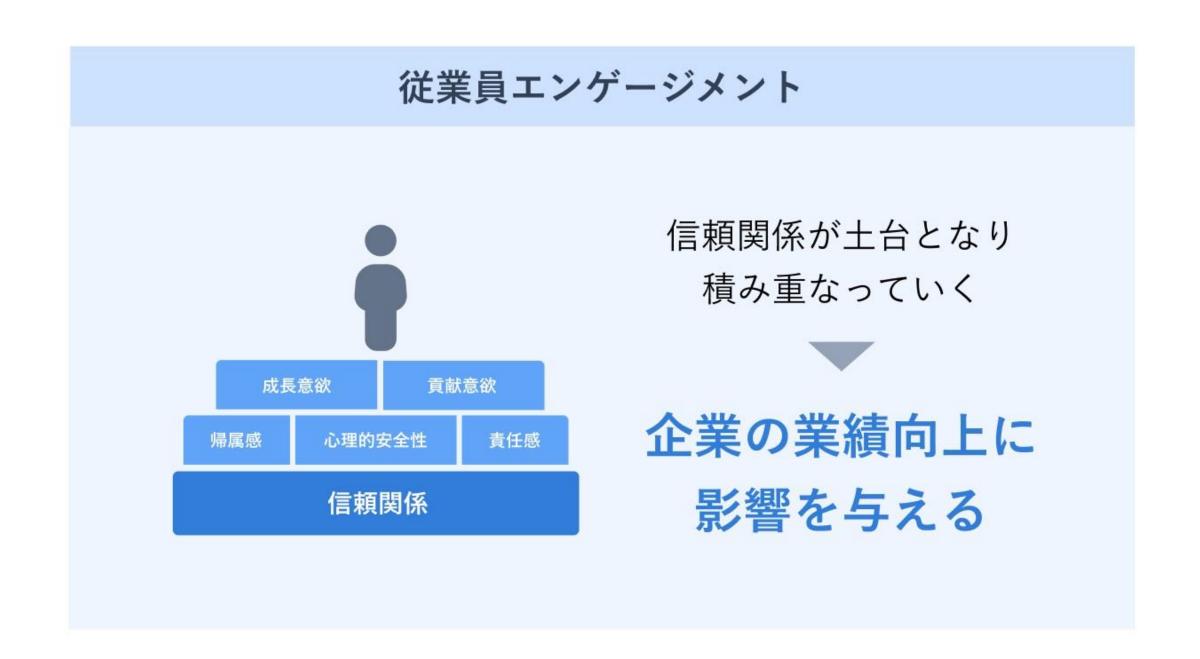
補足資料

社名	株式会社スタメン
設立	2016年1月29日
所在地	名古屋本社:名古屋市中村区下広井町1-14-8
拠点	東京拠点:東京都千代田区神田錦町2-2-1
代表者	大西 泰平
従業員数	79名(2023年3月末時点の正社員数)
資本金	6億1640万円(2023年3月末時点)
事業内容	エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」の企画・開発・運営 コミュニティ運営プラットフォーム「FANTS」の企画・開発・運営
グループ会社(連結対象)	株式会社STAGE

欧米では広く浸透した概念であり、数年前から日本国内でも認知が進み、 経営の重要指標として注目が高まっている。



「ウイリス・タワーズワトソン」「ギャラップ」などの世界的コンサル会社の調査・研究により、 「企業の業績向上」との相関関係の有無が明らかにされている。





従業員エンゲージメントについて、調査や研究、実証実験を進める世界的なコンサルティング企業

ыччы Willis Towers Watson









TUNAGは組織課題の改善に向けた施策の設計、プラットフォームを用いた実行、 分析画面を用いた改善活動まで、 ワンストップで実施可能。

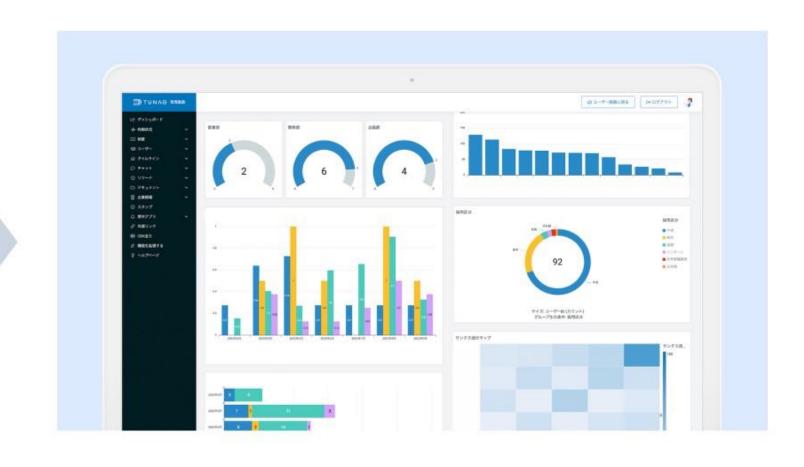
TUNAG



組織課題に合わせた、 自社独自のエンゲージメント施策を設計



施策の効果を最大化するための 画面設計と機能



施策の運用状況や、 リアルタイムな組織状態を可視化

利用企業から月額利用料金と初期導入料金をいただくことで、安定した収益基盤を限界利益率の高い形で構築することができる。







当社

プラットフォームの提供

- ・社内制度運用クラウド(TUNAG管理画面)
- ・組織コンサルティング(カスタマーサクセス)



利用企業 (運用担当者)



TUNAG (ユーザー向けアプリ)

アプリケーションの運用

- ・社内制度の利用を販促
- ・全社のコミュニケーションを活性化



利用企業の 従業員

サービス利用料金の支払い

- ・アカウント数に応じた月額利用料金(ストック収益)
- ・初期導入料金(フロー収益)

TUNAG

目下の重点施策であるエンタープライズ向けの営業強化や、販売パートナーの拡大、 株式会社以外へのターゲット拡張などが形になってきており、 顧客基盤も着々と広がっている。

大企業

(従業員数1,000名以上)











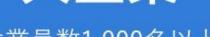
































中規模企業

(従業員数100~999名)























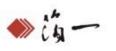
















少数精鋭企業

(従業員数~99名











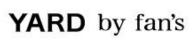
























クローズドSNS

情報がリアルタイムに蓄積されていく、 カスタマイズ性の高い社内SNS

- ・ 社内制度の活用内容がタイムラインに流れ込み、制度の自走化を促す
- オリジナルスタンプや必読投稿、メンションコメントなどコミュニケーションを活性化させる豊富な機能群
- 社内ポータルとしても活用できる柔軟なカスタマイズ性が特徴





社内制度一覧

社内制度や福利厚生を一括で 管理・運用できるプラットフォーム

- ・ 社内制度をカテゴリー毎に整理したり、要件や項目を自在にカスタマイズできるTUNAGのメイン機能
- ・ 申請や報告といった形でワークフローを設定したり、利用条件や公開 条件を設定したり、利用履歴を蓄積したりと細かな設定が可能





組織サーベイ

組織のエンゲージメントスコアを即時調査、 データで組織状態を見える化する診断機能

- ・ 部署や役職毎など、組織に合わせてセグメントした分析が可能
- 経年比較や属性比較など、様々な角度から組織の状態変化を可視化
- 診断結果に合わせて、TUNAG上で改善施策を設計・運用することが可能
- 独自のカスタマイズ設問を追加することも可能

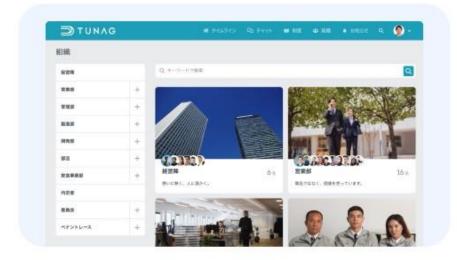




社内ポイント

制度に合わせて自在に設定し、柔軟なインセンティブ 設計やゲーミフィケーションが可能なリワード機能

- 利用時にポイントを自由に付与したり消費したりと、柔軟なカスタマイズが可能
- ・ポイントの名称も自由に命名可能で、ポイントを社員同士が相互に送 り合うことも可能





組織一覧

社内の組織ツリーを一覧で見える化でき、 社員のプロフィール情報も一括管理できる人材DB

- ・ 組織毎に担当上長や、組織の説明、構成メンバーなどを一覧で管理で き、会社の全体像を見える化
- ・プロフィール項目は自在にカスタマイズでき、制度の投稿内容と連動 して自動更新をかけることも可能で、動的な人材DBの構築が可能





ビジネスチャット

情報セキュリティや組織ガバナンスに配慮した 運用が可能なチャットコミュニケーション機能

- 人材DBと連携してチャットルーム管理が可能
- 個別チャットやグループ作成などの可否が権限設定可能
- オリジナルスタンプにも対応
- チャットルーム毎にファイル管理機能も搭載





ワークフロー

申請・承認などの社内業務手続きを、部署や役職に 合わせてスムーズに電子化する社内決裁機能

- 社内制度毎に自由で柔軟な電子決裁の導入が可能
- 決裁履歴は、検索機能でいつでも簡単に遡り、確認することができる
- ・決裁者不在時のスキップ処理や、部署単位の決裁フローなども簡単に設定
- スマートフォンには決裁依頼の通知が飛ぶので、やり取りもスムーズ



a

データ分析

社内の活性化状況や組織運営におけるアクションデータ をワンタッチで確認できるダッシュボード機能

- ログイン率や制度利用率、コメント率といった各種指標が一目で確認可能
- 日次、週次、月次など期間や、部署、役職でセグメントした分析も簡単
- エンゲージメント向上において重要な企業毎のヘルススコアも算出
- 反響の大きい投稿やユーザーもランキング形式で把握ができる

市場創生期のマーケットでユニークなポジションを取っているため、 直接競合する他プロダクトが非常に少なく、かつ、 システム連携により既存ツールとバッティングせずに導入ができる。

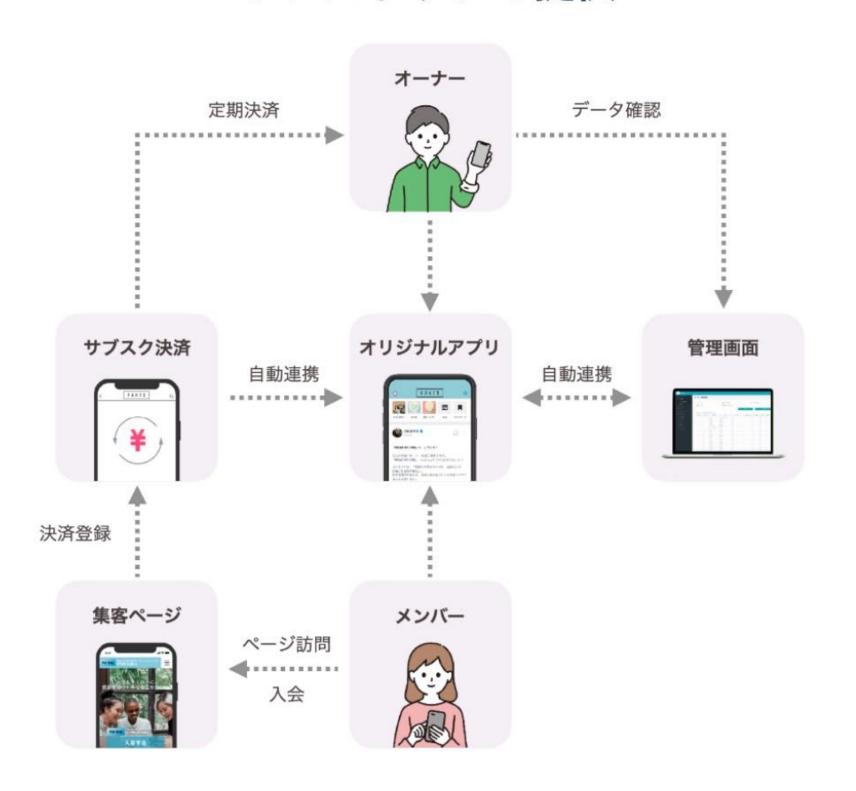


HRテクノロジーサービスにおいて TUNAGが有する競争優位性

- 組織に属する全スタッフが活用する
- ユーザーが日常的にサービスにログインする
- 1日のうちに何度もサービスを利用する
- 1つのサービスで様々な使い方ができる
- 活用状況を直感的に分析し、PDCA改善ができる
- 業種業態や規模を問わず、導入検討ができる
- 導入時に開発リソースが一切不要
- 他領域のSaaSサービスとの柔軟なシステム連携ができる



コミュニティ運営に必要な機能を、 ワンストップで提供



当社

コミュニティが売り上げた運営収益から、

レベニューシェアでサービス利用料金をいただくBtoBtoC型のSaaSサービスとなっており、 運営コミュニティ件数と会員総数が当社収益と連動する。



FANTS (管理画面)



プラットフォームの提供

- ・コミュニティ運営クラウド(管理画面・決済・LP)
- コミュニティのプロデュース(企画・ディレクション)



コミュニティ運営主 (法人/個人)

サービス利用料金の支払い

- ・アカウント数に応じた月額利用料金(ストック収益)
- ・初期導入料金(フロー収益)



FANTS

(ユーザー向けアプリ)

コミュニティの運営

- ・様々な形式に対応したコンテンツの配信
- ・会員同士のコミュニケーションの活性化



コミュニティ会員

コミュニティの運営収益

- ・月額会費の支払い (サブスクリプション) ※FANTSの決済システムによる自動徴収
- ・グッズ等購入時の支払い(単発課金) ※FANTSの決済システムによる都度課金



FANTSが対象とするサブスクサービスや、ソーシャルメディアマーケティングの市場は、 いずれも高い成長性を示しており、事業の伸び代は非常に大きい。

サブスクリプションサービス国内市場規模予測

(単位:億円) 10,000 8,623 9,000 8,000 7,000 6,000 5,627 5,000 4,000 3,000 2,000 1,000

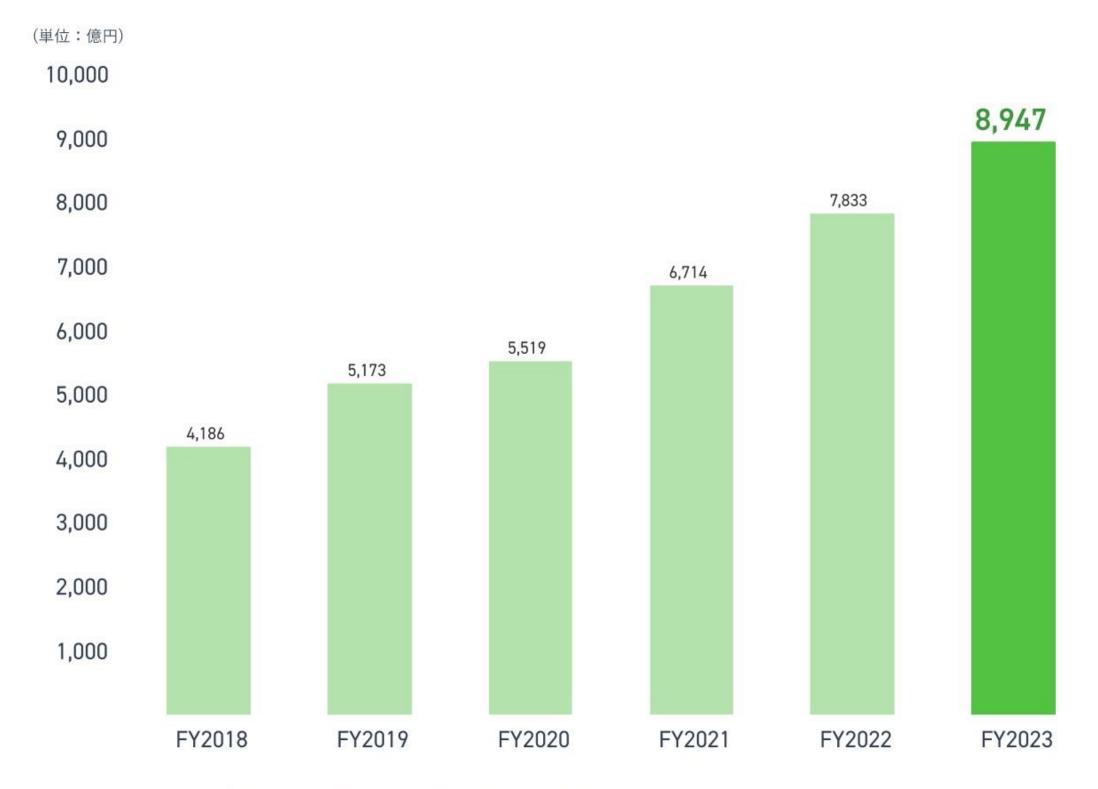
FY2020

FY2021

FY2022

FY2023

国内ソーシャルメディアマーケティング市場規模予想



出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティング「サブスクリプション・サービスの動向整理(2019)」

FY2019

FY2018

出所:サイバーバズ「国内ソーシャルメディアマーケティング市場動向調査(2020)」

プロスポーツチーム、ミュージシャンやアーティスト、タレントや著名人、 レジャー施設、YouTuber、協同組合、スクールや習い事など、 幅広いカテゴリーでFANTSの運営コミュニティが拡大中。



レバンガ北海道『One Hoop』



田村 淳『大人の小学校』



京都信用金庫『まちごとオフィス』



南知多ビーチランド『支援プロジェクト』



滋賀レイクスターズ『LAKES+』



ちゃごるTV『公式ゴルフコミュニティ』



田中大輔&吉見一起『バッテリー教室 大吉塾』



すみだ水族館『すみだペンギンファンクラブ』



辻 直人『#TEAMNAOTO』



寿商店『ファミリーサロン』



寺田有希『オフィシャルファンクラブ』



JAしまね『こども倶楽部』

本資料に掲載する情報は、当社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全 性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。

本資料の掲載内容のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。また、今後の当社または当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正すると は限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

2018年12月期四半期会計期間及び2019年12月期四半期会計期間の財務数値については監査法人による監査を受けておりません。

20XX年12月期を「FY20XX」と記載し、四半期会計期間については「1Q~4Q」と記載しております。